

東部ひろばから

人権啓発講座

「多文化共生をすすめるために」開催

1月24日(水)人権啓発講座「多文化共生をすすめるために」が開催され、21名が参加しました。松本市住民自治局人権共生課の小山結さん、「松本市多文化共生キーパーソン」のミンチェンス・シャークさん、シャークさん、オランダ出身、寺島ゆいさん、中国出身の3名を講師としてお迎えし、それぞれの立場からみる「多文化共生」についてお話を聞きました。

冒頭、小山さんから松本市の多文化共生の取組みや、松本市や東部地区の外国人の居住状況等について説明を受けました。



ミンチェンス・シャークさん



寺島ゆいさん

続いてシャークさん、寺島さんのおふたりから、外国から日本(東部地区)へ移住し生活する中で、実際に体験されたことを始め、想いや感じることをお聞きしました。おふたりは、「松本市多文化共生キーパーソン」として登録し、国籍を問わず誰もが地域の一員として活躍することができる社会をつくるための「橋渡し役」として活動をされています。

そのお話には、気付けられることがたくさんありました。「白人はアメリカ人だと思ってる」(シャークさん)、「親しくなってるから移



参加者も真剣に話に聞き入ります

住者だとわかると一歩引かれてしまう」(寺島さん)といったフレーズは今まで意識していなかった思いであり、特に心に残りました。

多文化共生のための気付き

みなさんは「白人は英語を話すに決まっている」、「日本語が上手で日本人のようない外見なら日本人だ」こんな思い込みや決めつけをしてしまったことはありませんか。おふたりには、そんな思い込みに対し戸惑いを感じてしまうといった「生の声」も聞かせていただきました。

普段意識せずに接しているだけに、非常に心に迫るものがあり、彼らと共生するうえで、どんな心構えで接したらいいのか考えさせられました。

変わりゆく東部の街並み

～女鳥羽川河川敷～

1月から、女鳥羽川河川敷に広がる「女鳥羽川緑地」の桜橋から上流の元町橋までの区間で、成長して大型化したつつじなどの低木や、老朽化したベンチの多くを撤去する工事が行われました。

これは、女鳥羽川緑地の清掃や樹木の維持管理などを担う地元町会の皆さんの負担軽減と、河川増水時に水流の妨げとなる障害物を撤去し安全性を向上させることが目的です。

令和6年度以降、4か年計画で最終的にはスポーツ橋付近までの約2kmの区間で行われる予定です。



桜橋付近から上流方向を望む(3月初旬撮影)

互いを認めあう社会に

この思い込みというのには、外国人の方に対してだけではないと感じました。「女だから」「男だから」「お母さんだから」「お父さんだから」「若いんだから」「高齢者だから」。みんな違うのにひとくくりにしてしまおう。そんな気付きを認識し、個々を認め合うことから始める。些細な一歩かも知れませんが、それが共生につながるのでは。

今回の講座に参加して反省すると同時に、今後に気付きをいかしたいと切に感じました。

おめでとう！新小学1年生 掲載希望者募集

松本市公民館報【東部版】では、地域の子どもたちを地域のみんなでお祝いし、見守り、健やかに育ってほしい。そんな思いを込めて毎年5月30日号に、東部地区にお住まいの新小学1年生の写真を掲載しています。

掲載をご希望の方は、お住まいの地区の町会長または、東部公民館(☎361-8565)までご連絡ください。

●締切 4月8日(月)



飛び入りの観光客も繭玉焼きに挑戦
(1月13日・元女橋下流側)

あつた昨年から一転、今年も
東部地区内すべてのこども会
で開催されました。
1月13日(土)に、元女橋
下流側で開催された、片端
町・出居番町・東町1丁目・東
町2丁目・南上横田町・葭町こ
ども会による三九郎では、
大勢の子どもたちや地区の
住民だけでなく、観光客の
姿もみられました。集まっ
た人たちは、雪が降りしき

無病息災の願いを込めて 三九郎 開催される

1月6日(土)
から13日(土)に
かけて、東部地区
内女鳥羽川で、各
地区こども会によ
り三九郎が実施さ
れました。
コロナ禍や悪天
候の影響から開催
を見送った地区も

る中、三九郎の煙を浴びた
り繭玉を焼いたりし、無病
息災への想いを馳せていま
した。

また、最近では繭玉以外
にも様々な物を焼く姿も見
られ、この日もマシユマロ
やウインナー、クロワッサ
ン等が焼かれ、伝統と子ど
もたちの自由な発想との融
合が見られました。

地区こども会の腰原由絵さ
ん(東町2丁目)は「雪だつ
たので開催するか悩みまし
たが、無事開催できました。子
どもたちにとっては猛吹雪の

中やったことも良い思い出
になるのでは」と話しました。
近年は少子化による担い手
の減少や、環境問題など、三
九郎の実施にあたり課題も多
くなっています。地域の力
を合わせ、伝統文化を守つて
いきたいものです。

実施日	こども会
1月7日	清水東
	清水中
	桜町
1月8日	清水西
1月13日	片端町・出居番町・東町1・東町2・南上横田町・葭町
	鍛冶町・餌差町
	下横田町・東町3

各種講座 催し 実施しています!

東部公民館、福祉ひろばでは、「みなさんのやりたい」を応援
する各種催しを開催しています。その一部をご紹介します。



2/8 焙煎から楽しむ
コーヒーの淹れ方講座



2/14 ニュースポーツ講座
(モルック)



3/4 子育て支援



3/11 早春コンサートとカレー会

我がまち自慢 大手郵便局元局長 東町3丁目 関 守雄さん

関守雄さんは、平成17年から22年
までの6年間に東
町3丁目町会長と
して、その後半
3ケ年は東部地区
町会連合会副会長
として地域活動に
積極的に関わつて
こられました。

◆趣味やこだわりについて
郵便局員時代、外国の方を
案内する機会があり、英会話
に興味を持ちました。NHKラ
ジオ語学講座で会話力を磨き、
退職後に松本城の外国人向け
観光ガイドを13年間務めまし
た。「アルプス善意通訳協会」
という団体で160名ほどの
方が無報酬で活動しています。
ガイドの仕事は、英会話が
堪能であることは当然ですが、
松本城の魅力を正確に伝える
こと、しかも楽しく伝えること
に苦心しました。通算すると
1,500人の外国人から来られ
た皆さんをご案内しました。

◆局長さんとしてのお仕事は?
浅間郵便局に入局し、30代で
東町郵便局(現大手郵便局)局
長に就任。63歳で退任するまで
勤めました。当時、お金の出し
入れは今のようない機械が無く、
すべて手作業で行っていました。
窓口業務は、小売り店主
の多い地域柄もあり大変でした
が、やりがいを感じました。

◆いま楽しみにしていること
コロナ禍により延期していた
各種イベントが復活してきま
しました。積極的に参加したいと
思います。奥様との上手な付
き合い方をお聞きしたところ、
「主導権を相手に委ねる事」と
お答えいただきました。仲良
くお幸せに。



◆局長さんとしてのお仕事は?
浅間郵便局に入局し、30代で
東町郵便局(現大手郵便局)局
長に就任。63歳で退任するまで
勤めました。当時、お金の出し
入れは今のようない機械が無く、
すべて手作業で行っていました。
窓口業務は、小売り店主
の多い地域柄もあり大変でした
が、やりがいを感じました。